

## 第6章 まとめ

### 1 今後のスケジュール

今後の再整備事業のスケジュールについて表 6-1 に示すとおり、次年度である令和 8 年度より、事業協力者を募集・選定して協議を行いながら要求水準書を作成し、並行して土壌分析やアスベスト調査等の追加現況調査を行いながら、2 年かけて事業者選定のための公募資料等の作成を実施する。

その後、令和 10 年度に市場施設の設計・施工・維持管理業務と余剰地開発を行う事業者を公募（一括での性能発注を予定）して、10 年程度を掛けながら整備を実施していく予定である。

表 6-1 今後の再整備事業のスケジュール

項目	2026	2027	2028	…
	R8	R9	R10	…
発注仕様書・追加調査				
事業協力者との協議				
開発・整備事業公募・決定 設計・調整・工事				

工事期間約10年の期間の中で順次完成（予定）

### 2 今後の取組課題

#### (1) 使用料負担の軽減、工期の短縮について

今後の取組課題としては、事業協力者と市場施設の要求水準や企業誘致施設の規模・配置などについて、対話を行いながら整理しつつ、場内事業者にとって重要な施設使用料低減に向けた検討を進めていく必要がある。具体的な今後の検討課題については以下に示すとおりであり、今後も市場関係者とも意見交換を進めながら、基本計画を基に再整備事業の内容を精査していく。

- 工期の圧縮
- 市場施設の簡素化による整備費の圧縮
- 市場施設の時間帯シェアや集約化
- 新たな収入源の確保
- 開設者の一般管理費の削減

## (2) 交通対策について

本市場への一般市民の方の安全なアクセスの確保について、注意看板の充実等、市場周辺の安全性を確保するための手法を道路関連部門と協議して今後検討を進めていく。

あわせて、市場敷地内の対策として、一般利用者と場内業者の動線分けや、市民や消費者が利用すると考えられる施設を入口付近に配置するなど、安全対策を講じていく。渋滞対策については、市場連絡協議会交通部会なども活用しながら周辺地域に配慮した対策を検討する。

以上